

【建設通信新聞 令和4年12月26日】

群馬建協リカレント研修

5期目14人に修了証



群馬県建設業協会（青柳剛会長）は22日、前橋市の群馬建設会館で、5期目となるリカレント（学び直し）研修の修了式を開いた。写真。土木コース全8回を受講した9人、建築コース全4回の5人が全日程を終えた。

青柳会長は「今回の研修が将来のスキルアップのための節目になることを期待する。技術者同士のネットワークを生かしてコミュニケーションを図り、モチベーションを高め合うことも技術者としての財産になる」と話した。この後、受講者代表の斎藤大輝氏（佐田建設）に修了証を手渡した。

続いて、小池健陽氏（群馬県建設技術センター）が代表として「学んだことを持ち帰り、これからの社会人人生に生かしていきたい」と述べた。

研修の企画・運営に携わった日本マルチメディア・イクイップメントの高田瑞規教育研修事業ディレクターは、総評で「仕事で求められる能力や必要な技術を習得し、定着化していただきたい」と話した。

土木はUAV（無人航空機）や3次元CAD・VR（仮想現実）、最新の測量機器・技術など、建築は3次元CADのほか、コスト削減・工程管理などについて学んだ。

【建設工業新聞 令和4年12月27日】

群馬建協 土木9人、建築5人に修了証 リカレント研修閉講式

群馬県建設業協会（青柳剛会長）は22日、2022年度のリカレント（学び直し）研修の閉講式を前橋市の群馬建設会館で開いた。会員企業の技術者に学び直しの場を提供することを目的に行っている研修。22年度は計8回の土木コースを9人、計4回の建築コースを5人が受講し、修了証を受け取った。

ICT施工関連の講義や、他社の技術者とのグループワークなどを行った。研修は青年経営者部会がバックアップした。

閉講式で青柳会長は「ワンステップ上がって日々の現場管理にしっかり役立ててほしい。それぞれがコミ



関係者の記念撮影

ユニケーションを図り、モチベーションを高め合つことも技術者の財産になる」と述べた。続いて受講者を代表し、群馬県建設技術センターの小池健陽氏が「学

んだことを持ち帰り、自分を見直しながら、これから生かしたい」と感想を話した。

研修を担当した日本マルチメディア・イクイップメントの高田瑞規教育研修事業ディレクターは「新技術は進化、技術革新が早い。他社の人と関わるのもこの研修ならではの。最新の技術の情報を自ら取りにいき、求められる能力、必要な技術を定着させてほしい」と総評した。